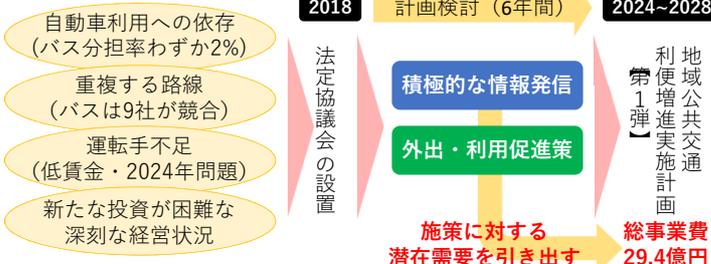


# モビリティマネジメントの実践を通じた 地域公共交通利便増進実施計画の策定

平田 晋一・秋永 淳一郎・藤井 啓介・三宅 健斗（岡山市 都市整備局 都市・交通部 交通政策課）

## 1. 概要

施策に対する市民の潜在需要を引き出しながら  
今後5年間の新規投資額を明記した実施計画を策定



## 2. 積極的な情報発信

危機的状況と社会的意義の共有により  
公共交通施策に対する潜在需要を引き出す

- 1 市民・事業者等との議論：協議会等23回、議会質問60回
- 2 情報発信：広報誌7回、市政放送11回、新聞広告6回

## 3. 外出・利用促進策（路線バス・路面電車）

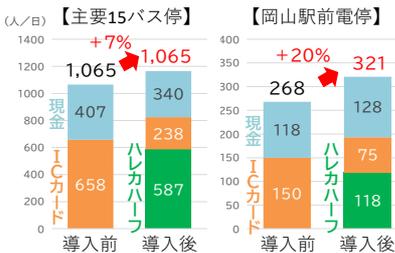
市の関与と事業者間連携を強化しながら、  
公共交通利用への自発的転換を促す施策を実施

### 1 運賃半額割引（2021～実施中） 高齢者・障害者

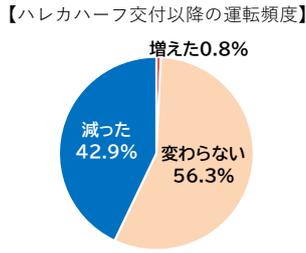
- 【概要】・市内全路線を運賃半額割引
- ・市内在住の高齢者と障害者を対象にハレカハーフ（専用ICカード）を交付
- ・割引額は岡山市が事業者に負担



#### ■ 利用者数の増加/高齢者



#### ■ 車の運転頻度の減少/高齢者



※カウント調査（ICカード分は利用履歴データ）  
※調査日：<導入前>2021/3/11(木)・15(月)  
<導入後>2023/3/13(月)・16(木)  
※グラフはオフピーク時間帯（9～17時）  
※新型コロナウイルス感染症の感染収束時期

※アンケート調査（ハレカハーフ所持者）  
※n=517（ふだん車を運転する方）

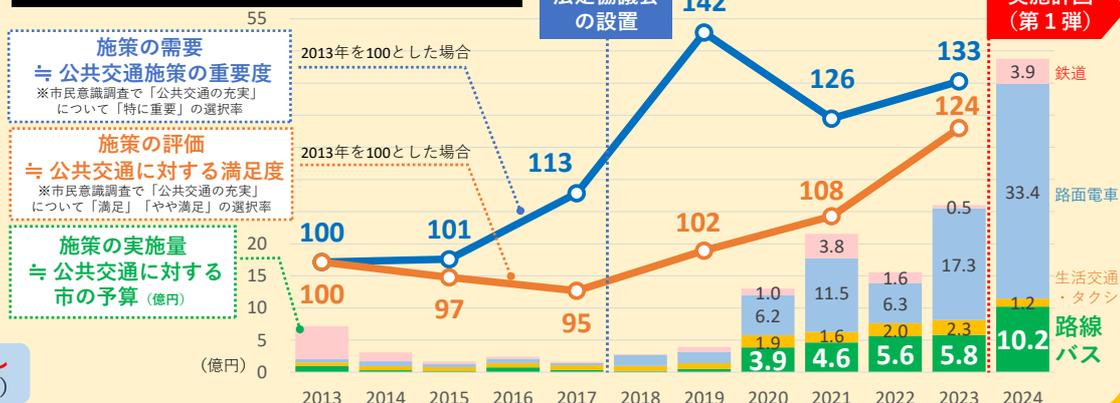
## 4. 成果と効果

- ✓ 計画策定に向けて、オープンな議論や積極的な情報提供を行うことで、公共交通施策に対する需要が30%前後上昇
- ✓ 計画策定段階から利用促進策を継続的に実施することで、市民の満足度を高めながら、公共交通の予算を押し上げ

新規投資額29億円（官民）  
を明記した実施計画を策定

国の新たな財政支援が大きく後押し  
（臨時交付金や社会資本整備総合交付金）

### 公共交通施策の需要・実施量・評価の推移

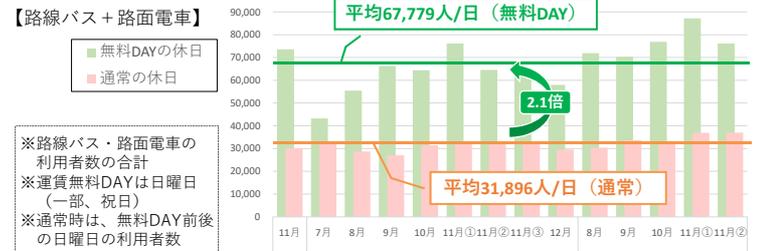


## 2 運賃無料DAY（2021～2023） 全体

- 【概要】・市内全ての路線を運賃無料化
- ・3年間で計15回実施（平日1回・休日14回）
- ・当日の運賃相当額を市が事業者に負担

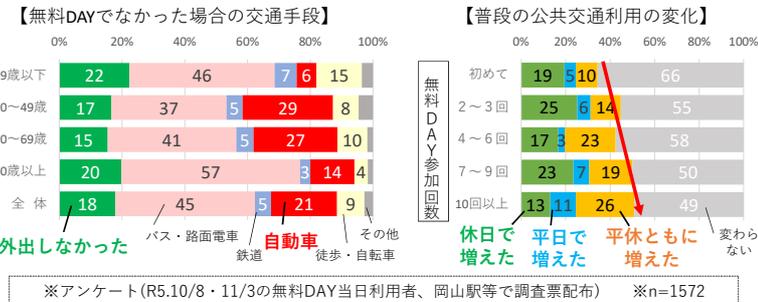


### ■ 無料DAYの利用者数は通常の2.1倍



### ■ 当日は約2割が車から転換、外出促進効果は「若者」が最大

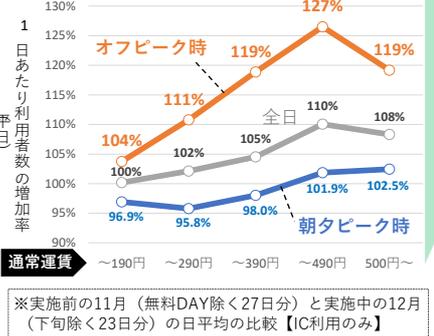
### ■ 無料DAYの継続実施で通常時の利用促進効果が向上



## 3 運賃200円キャンペーン（2023） 中・長距離

- 【概要】・市内全ての路線の運賃を200円に上限設定（定期券除く）
- ・約1か月間実施（2023/12/1～2024/1/3）
- ・当日の運賃相当額（通常運賃換算）を市が事業者に負担

### ■ 平日オフピークの全料金帯で利用増（定期は通常価格のためピーク時はほぼ感度なし）



<令和6年度>  
新たな運賃体系を検討中

- ① 競争で低廉化した中心部・初乗り運賃の見直し
- ② 中・長距離は利用しやすい金額設定に
- ③ 区間からゾーンに変えてシームレスな利用に

目標 利便増進実施計画【第2弾】